

平成 25・26 年度 総会 議事録

日 時 平成 25 年 9 月 1 日 (日) 14 時～
場 所 南高大会議室
参加者 理事：石川 桐生 菊地 山形 高田 山崎 尾崎 岩本 小林 内藤 比留川
粕谷 山田 千葉
監事：北見
相談役：鈴木 岩田 (敬称略)
会員：52 名
来賓：8 名

1. 開会挨拶

司会 17 期理事 小林保

みなさま、お忙しい中ありがとうございます。これより横浜市立南高等学校・附属中学校同窓会平成 25・26 年度総会を開始いたします。なお本日は学校からのお願いでこの会場以外には立ち入らないでください。また、記念と記録のために写真撮影をしておりますのでよろしく願いいたします。

2. 会長挨拶

会長 9 期 石川直弘

本日は、暑い中お集まりいただき本当にありがとうございます。わたしは、9 期卒業の石川直弘といいます。母親の実家に養子に入りましたので旧姓は福田でした。都立高校で物理の教師をして退職時には都立田園調布高校の校長をしていました。3 年前の中高一貫校問題の時までは、南高の同窓会の存在すらも知りませんでした。当時の小後摩会長のもと同窓会は PTA と後援会と一体となり市教育委員会と交渉を続けた結果附属中学を作るという現在の形に収まり南高を残すことができました。私も教育関係者としていろいろ意見も述べたりしました。そうこうしているうちに 2 年前から私が同窓会の会長を仰せつかることになりました。

50 期が卒業する時から任意団体に強制加入させるのは好ましくないという市の指導の下、同窓会の入会が任意加入になりました。私が会長になる前には卒業生の 30% しか同窓会員にならないという事態になっていました。これでは同窓会として成り立って行かないのではという危機感をもち、理事たちと話し合い、南高大好き人間たちが集まり情報交換ができる同窓会にするために新しい行事や規約の改定を進めています。一番の問題点は同窓会からみなさんへの情報発信が全く無かったので、これでは何もできません。2 年かかりましたがこの度約 22000 人の会員のうち既に 5000 人以上の方の住所がわからなくなっていましたので 16000 人余りに案内を送りましたが約 2000 通が転居等で戻って来てしまいました。今後も調査を続け出来るだけ全員に届くよう努力します。改革の途に就いたばかりでいろいろな問題が残っていますが、今日はこれまで 2 年間の総括をここで審議頂き、是非ともみなさんからのご協力ですらに同窓会を盛り上げて行きたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

3. 来賓紹介

南高校長 鈴木英夫様。附属中学校長 高橋正尚様。PTA副会長 大越雅也様。後援会会長 北崎熙様。青垣ファンド委員長 朝倉敦子様。南高校同窓会担当 酒匂先生。田辺先生。河合先生。

4. 来賓挨拶

南高等学校校長 鈴木英夫 様

初めまして、4月1日に着任しました鈴木英夫です。よろしくお願ひします。私はY校で国際学科の立ち上げをして、その後定時制高校を経て教育委員会に入り、高校担当の指導主事をしておりました。

これからの南高はとても難しい局面にあります。平成27年にどういふ南高であるかということが非常に大事になってきます。現在中学2年の附属中生が安心して進学し、27年度募集での高校からの1クラス募集も定員割れすることなく、今まで以上に信頼される南高をどう作っていくのかと云うことが大きな課題です。この課題を25年度、26年度で解決していかないと伝統ある南高ですら定員割れなどの危機に直面します。

この危機を回避するためには南高はどんな教育の特色を持った学校なのかを明確にする必要があります。私のミッションは南高の価値を守っていくことだと考え、現在必死に頑張っております。これからも頑張つて南高を守りますので、どうぞよろしくお願ひします。

附属中学校校長 高橋正尚 様

こんにちは、私は開校準備期間を含めて3年目ですが、これまで皆様のご支援ありがとうございます。現在2年生までで320名在籍しております。当初部活動に関しての心配がありましたが、全体の70%が運動系の部活に入っています。2年生に限つて云えば160人中155人が部活に入っており、割と活発に活動しています。2年生の夏の大会などを見ていると、高校に行つても関東大会や全国大会を狙えそうな生徒が何人かいるように感じます。心配していた割に頑張つているのでほつとしています。来年度で3年生がそろいますので、今後ともご支援よろしくお願ひします。

中高一貫について簡単に説明しますと、平成9年に旧文部省で中等教育学校を作り、今までの6・3・3・4制ではなく6・6・4制を作ろうと云うことで答申が出されました。法改正をして全国に500校作る計画で平成8年にスタートして現在441校できています。神奈川県では開校予定を含めて現在7校あります。いろいろ難しい問題はありますが、できるだけ今までの伝統を守つて、文武両道で部活動の盛んな学校にしていきたいと思つていますので、いっそうのご支援をよろしくお願ひします。

PTA副会長 大越雅也 様

本日は坂会長が所用のため、代行で出席しました副会長の大越です。私は昨年度会長をしていましたが、多忙のため今年度は坂会長にお願ひしました。

いま、お二人の校長のお話にもありましたが、PTAとしてもこの3年間は激動の期間でした。私は昨年度中高一貫1年目の会長をしましたが、何をしたらよいのかよくわからないまま、あつという間に1年過ぎました。ようやく今年になって方向性が見えてきたかなと思つています。

私の長女は現在高3で、この2年半親の私たちから見て羨ましいほど南高生活を満喫しています。今週合唱コンクールのDVDを家族で観ましたが、それを通して今まで南高の生徒達が本当に楽しんで充実した高校生活を送るように考へて先輩達が築き上げてきた伝統にふれ、本当に南高つて素晴らしい学校だなと感激しました。その上

で27年度にこのような伝統の下に立った南高に、附属中学の生徒さん達がどのような思いで入学してくるのか複雑に感じています。PTAの役員の中にも当然附属中学生の保護者の方もいます。その方達とお話をしていると、空気が変わってきているのは明らかです。そういったものを受け入れなければならないし、発展させなければいけないと思っています。

中高一貫の話が出たときには、いろいろな問題があったと思いますが、受け入れてスタートしたからには横浜で一番特色のある学校にしていかなければならないと思います。南高の伝統にはそれができる素地があると私は確信しています。私は南高の卒業生ではないので同窓会には入れませんが、来年以降は貢献会として精一杯バックアップしていきますので、よろしくお願いします。

後援会会長 北崎 照 様

私は17期の息子と25期の娘が南高でお世話になりました。それ以後、私は後援会の会員になって現在に至っています。戦争のため私の女学校時代の教育は十分なものではありませんでした。それを穴埋めするように読書会やコーラスに通い、親としても南高に学び育てられたと思っています。

後援会とは、現役生徒と保護者の会員、南高の教職員、後援会の趣旨に賛同してくださる賛助会員からなっています。事業として一番大きなものは生徒の部活動への支援、対外派遣、外部講師への謝礼ほか、学校設備等の援助をお手伝いしています。次に、保護者の生涯教育としての読書会とコーラスへの援助、年1回の会員の親睦会旅行があります。さらに、中高一貫問題の際にはPTA、同窓会、後援会の三団体が一体となって学校を支援していくことを再確認しました。これからも後援会として従来通り支援していくことが大きな目的です。年々卒後会員の高齢化が進んでいますので、若い方の後援会への参加をぜひよろしくお願いします。

青垣ファンド委員長 朝倉教子 様

皆様こんにちは。簡単に青垣ファンドについてご説明させていただきます。

まず私は子供が56期生で、21年度にPTAの役員になり22、23年度の会長をさせていただきました。子供が南高に入学して間もなく中高一貫問題が起こり、PTA、同窓会、後援会の三団体の方々とお会いして一緒に活動する機会が増えました。そのことを通して、南高の歴史と伝統について知ることができました。また、同窓会の方々の母校に対する熱い思いも強く感じることができました。紆余曲折のうえ、附属中学ができるということを前向きに受け入れ、中学、高校実質二つの学校ではありますが、PTAも同窓会、後援会もそれぞれが学校全体を応援しているということになりました。

このようななかで、このたび南高校および附属中学校の教育を支援するためのファンド、通称「青垣ファンド」が今年の3月14日に立ち上がりました。これは昨今のPTA回避の使い道に対する規制が厳しくなってきたことに応じて、これからも従来通り学校を応援していくために立ち上げたものです。横浜市教育委員会からも学校ファンドという名前で認められています。

具体的な活動としましては、学校からの要望がありましたので、7月のファンドの運営委員会で協議して1階のロビーの掲示板を新設、さらに掲示物を照らすためのライトをファンドとして初めて支援させていただきました。今後は寄付集めるために附属中学校と南高校のオリジナルグッズを作成、販売するなどして活動をしていく予定です。

ファンドという名前ですが、学校並びに生徒を支援するための寄付ですので自分に返ってくるものではありません。しいて言えば、自分の母校がよくなるということで自分に返ってくると考えていただければ幸いです。なお、

ファンドの詳細につきましては、学校ホームページ内のファンドのページをご覧ください。また、ファンドは主に学校の施設整備の支援をしていく予定です。

皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

5. 議事

議長 会長 石川直弘

第1号議案 同窓会規約

会長 石川直弘

2012年3月26日に改定した現行の会則では、第21,22条がこれまでの会則と変わった主なところです。以前は理事会が全ての決定権を持ち、一般の会員の意見が入る余地は全くありませんでした。総会は会員の親睦会として位置付けられており、卒業してすぐの同期会を同窓会が主催して5月に開催しておりますが、その時に総会を兼ねるという形をとっていました。ですから新入会員には会報も配られて総会にも出席することができましたが、それ以外の会員には総会が開催されていることすら知らされていませんでした。これでは公式の会の運営として好ましくないということで、これからは理事会でいろいろな事を検討して決めますが、必ず総会で皆様の承認を得て最終決定という形をとります。現時点では財政的な基盤がまだ確立されていないので総会は2年に1回の開催ですが、いずれは毎年の開催を目指しています。

Q. 附属中学を卒業後に他の高校に進学した人も会員になれるのですか？

A. 入会の資格はあります。卒業時に入会意思表示をして入会手続きをすれば会員となります。

Q. では中学を卒業する時と高校を卒業する時の2回入会の意思を聴くのですか？

A. 1回だけです。中学卒業時に聞くのは南高に来ない人だけです。

Q. 個人情報の扱いについてですが、名簿に載せないでほしいとか案内等を送らないでほしいというような要望にはどう対応していますか？

A. まず個人情報は同窓会の運営以外には使わないということを会則第8章の個人情報の管理のところ謳っています。また今回もそのような方については、住所や電話番号は原簿から削除しました。但し、お名前だけは残すということでお願いしています。

組織の形態として本来は各期にクラス幹事とその代表者がいてその中から理事が選任されるというのがあるべき姿ですが、これまで全くそういう形をとって来なかったのがこれから構築するのは大変なことです。将来的にはそういう方向性をもって頑張っていきます。現在のところは各期の同期会が行われたときにその中から代表者を推薦していただき理事会で承認した上でお願いしています。

他にご質問がなければ同窓会規約について承認される方は拍手をお願いします。

(一同拍手)

ありがとうございました。規約は承認されました。

第2号議案 事業・活動報告

副会長（事業担当理事） 18期 山形和弥

石川会長のもといろいろ新しいことに取り組んでいこうということで手さぐりで進めているところです。平成24年度は5月20日に南高食堂に於いて56期生の恒例の卒業後初めての同期会を同窓会主催で行いました。それから9月22,23日に同窓会として初めて南高祭に出展しました。「想いで箱」という名前で喫茶、一期生から直近の卒業生までの卒業アルバム展示、南高創立から現在までの年表の作成・展示、南高卒業生のお店などを載せた上大岡近辺のマップの作成・展示、野球部の過去の戦歴展示などを行い2日間で400人以上の来場者があり好評でした。11月17日には54期生の「二十歳の同期会」を開催しました。これは卒業後2年経ってお酒が飲めるようになって初めての同期会をしませんかということを同窓会から提案して賛同を得て平成23年度から開催しています。この時期に一度集まるとクラス幹事が明確になりその後の同期会が計画しやすくなるという目的もあります。この会には歴代のOBの方々にも同窓会から出席をお願いして年代を超えた交流の場を設けさせていただきました。11月10日と3月16日には南高から上大岡駅までの通学路の清掃活動をしました。参加者は現在のところ理事を中心とした有志で行っています。以上が平成24年度の事業・活動報告です。

Q. 清掃活動の具体的な経路と参加人員について教えてください。

A. 15時に南高に集合して京急のバス通りを下り上大岡中央商店街を抜けたところまでの道路上に落ちているゴミを1時間ほどかけて拾い集めながら歩きました。現在のところ理事を中心に十数名で行っていますが、今後はみなさんや現役の生徒たちにも声をかけていくことを目指しています。

Q. 今回が初めてですか？また開催の告知や参加状況についてどのように知ることができますか？

A. 23年度から行っています。ホームページと会報でお知らせしています。

他にご質問がなければ平成24年度事業・活動報告について承認される方は拍手をお願いします。

(一同拍手)

ありがとうございました。平成24年度事業・活動報告は承認されました。

総務・財務活動報告

副会長（総務担当理事）14期 菊地晶江

平成24年4月1日から25年5月31日までの活動内容ですが、事業に関しては先ほどの事業・活動報告とも重複します。会計としては会計監査、学校への援助金支払い。総務としては7回の理事会開催と会報発行をしました。以上が主なところですが、お手元の資料にはその他かなり詳細まで記載してありますが、これは同窓会がこれだけ活動していますということを初めてみなさまにお知らせするので細かく書いてありますが次回からは主なところだけを報告することになります。

ご質問がなければ平成24年度総務・財務報告について承認される方は拍手をお願いします。

(一同拍手)

ありがとうございました。平成24年度総務・財務報告は承認されました。

第3号議案 会計報告

副会長（会計担当理事）18期 高田桂子

同窓会では今回から6月1日から翌年の5月31日までを会計年度と変更しました。これは、その年の3月に卒業した人たちの同期会を5月に開催しているので入会金の多くが3月から5月にかけて集まってきます。このため同じ期の入会金収入が2年度に跨っていました。これを是正するために変更しました。移行措置として平成24年度は24年4月1日から25年5月31日となっています。このため入会金収入に関しては56期と57期の2期分が含まれ支出の部では2回分の同期会の費用が含まれています。自主企画事業費の中で55期の二十歳の同期会費用は25年度に開催するために支払った予約金です。同期会奨励金はオリンピックイヤーに同期会をする期が多いのでいつもの年よりも多めでした。金額は参加人数によって内規で定められています。

母校関係費で就学援助金は教科書代で表彰関係費は部活動で関東大会以上の出場者を表彰しています。*奨学金については会長から後ほど説明します。校歌CD関係費は生徒たちに校歌、応援歌を覚えてもらうために入学時にCDを配布しています。OB関係費は内規に定められているOB会等のお祝い金で南期会は美術部OB会の展覧会で、落研OB会は5月開催なので今回は2回分含まれています。

一般管理費の中で雑費は今回清掃活動や同期会の時にスタッフの人が区別しやすいようにスタッフジャンパーを作りましたので今年は多めになっています。

以上、収入計3,503,054円、支出計2,793,228円で、当年度収支差額709,826円と前年度繰越金9,610,404円合わせて次年度繰越金10,320,230円となります。

*これまで同窓会では奨学金制度はありませんでしたが、今年3年生になる生徒の両親が遠方に引っ越すことになり祖父母の家に預けられることになっていたのですが祖母が病気になってしまい困難になってしまいました。本人は是非南高を卒業したいという希望が強いのでPTAからも同窓会で援助してあげられないかと相談があり、理事会で話し合った結果この生徒を応援しようということになり、奨学金30万円を貸与するという方向で保護者と学校を交えて協議しました。卒業後10ヶ月で返却するという約束で特例で進めさせていただきました。

Q. これまでにも奨学金を貸与したことがありますか？

A. 今回が初めてです。

Q. 新しく奨学金に関する規定を作るのですか？

A. 今回は契約の際に校長と担任からこの貸与契約を承認するという確認書をもらい、生徒と保護者からも来年4月以降10ヶ月で返却するという約束の書面をもらいました。今後こういうケースが増えてきた場合にはお金を貸すという問題の性質上個々に対応することになると思います。

Q. これまでの繰越金が少ないような気がします？

A. 過去の会計報告を見ると教科書代などの就学援助金が毎年100万円前後ありました。入会者数がかなり少なかった時期に入会金収入が減ったことや50周年事業でかなり出費があったことも原因と思われます。

Q. 卒業時の同期会は中学の卒業時にもやるのですか？

A. やりません。

Q. 高校卒業時には附属中から他の高校に進学した人も呼びますか？

A. 現在そこまで想定していないので答えられません。

会計を明朗にするためにホームページにも載せています。また昨年度から本校の10期生で税理士の北見さんに会計監査をお願いしご指導をいただいております。収支計算書につきまして監査報告をお願いします。

監査報告

監事 10期 北見昭八

10期の北見です。現在日本橋で会計事務所をしています。2年ほど前に石川会長から同窓会の会計を整備したいというお話があり、全面的に協力しますということで引き受けました。私はJリーグの設立にも関与しまして、公益法人会計について本業で携わっています。予算を含め決算書とはその組織がどのような活動をしているかを会員や関係者の方々へメッセージを表明する文書です。事業計画や事業報告と合わせて見ていただくとよくわかりますが、南高の同窓会はいろいろな事業をしています。今回監査をさせていただきましたが、きちっとした会計、経理が行われていると私の方から発言させて頂きます。会計報告の資料で平成24年度収支計算書要旨、正味財産増減計算書要旨、貸借対照表要旨すべて要旨になっていますが、これが正式な決算書です。収支計算書、キャッシュフロー計算書ではたまたま今期が14か月という変則の事業年度のため若干金額が膨らんでいますが、その辺をご了承ください。

Q. 平成24年度収支計算書要旨の中で寄付金収入等の予算額と決算額の差異の数字に引き算の間違ひがありますので、そこを訂正して頂きたいと思ひます。

A. ご指摘ありがとうございます。訂正いたします。

他にご質問がなければ、平成24年度収支計算書ならびに監査報告を承認される方は拍手をお願いします。

(一同拍手)

ありがとうございました。平成24年度収支計算書ならびに監査報告は承認されました。

第4号議案 平成24・25年度理事役員承認

会長9期石川直弘、会長代理13期桐生秀昭、事業担当副会長18期山形和弥、財務会計担当副会長18期高田桂子、総務担当副会長14期菊地晶江、事業担当理事13期岩本しのぶ、事業担当理事13期尾崎由朗、事業担当理事20期内藤一彦、事業担当理事26期粕谷正伸、財務会計担当理事17期小林保、財務会計担当理事26期山田裕之、総務担当理事23期比留川秀一、総務担当理事43期田村勇人、総務担当理事45期只木聡、総務担当理事54期千葉飛鳥、監事10期北見昭八、監事30期荒川尚美、この方々を平成25・26年度の理事・監事として提案したいと思ひますが、何かご質問はありませんか？なければ承認される方は拍手をお願いします。

(一同拍手)

ありがとうございました。承認されました。

第5号議案 事業・活動計画

副会長（事業担当理事） 18期 山形和弥

平成25年度事業計画としまして大きなものは、来週9月7、8日の南高祭参加、10月に清掃活動、11月に二十歳の同期会、来年の3月に清掃活動、5月に58期生の同期会があります。同様に26年度も南高祭参加、清掃活動、二十歳の同期会、59期同期会という予定です。特に直近の南高祭では506号室で手書きの年表を貼り出し卒業アルバムも展示しますので、ぜひ皆様ご来場ください。

- Q. 今まで二十歳の同期会には5期生が中心に多数出席してきましたが、同窓生の二十歳を祝う有意義な会です。幅広い年代が参加できるように、この機会に宣伝したらいかがでしょうか？
- A. ありがとうございます。当初卒業後すぐの同期会ではまだお酒が飲める年齢でない、2年経ってみんながお酒が飲める歳になった時にもう一度集まりませんかということで企画をしました。かつて南高は先生の異動も少なかったこともあり同期だけではなく先輩後輩の縦のつながりが強かったのですが、実際に二十歳位の人たちが何十歳も上の先輩方とお会いして接する機会はあまりないと思ひましてOBの方々をお誘いしてきました。社会に出る前に人生経験豊富な先輩とお話ができるのも貴重なことだと思ひ同窓会として企画しています。告知としては現在はホームページに載せることが精一杯ですが、みなさん是非参加して頂ければ盛り上がり暖かい会になると思ひますのでよろしくお願ひします。
- Q. 遡って奨学金関連の話についての提案ですが、外国の学校ではよく行われていることですが卒業生のメールアドレスを管理して手紙のように通信費をあまりかけないで、同窓会の活動案内や寄付のお願ひや奨学金の援助などのメッセージを柔軟に対応して発信したらどうでしょうか？また不景気な時代ですので今後も就学困難な人が出てくるのが十分考えられますので、そういう人たちを挫折させないために私達もお手伝いしやすい方法をお願ひします。
- A. メール配信というのは理想なのですが、正確なアドレスの把握やアドレス変更などの点で現時点では厳しいところではあります。
- Q. メールに関しては、専門的な方に任せて送ってもらう形がよいのではないのでしょうか？それから同窓会の寄付と青垣ファンドの寄付の違いが分かりづらいと思ひます。そのようなことも含めて、名門の学校はOBの連携がしっかりしていますが、これからは大口よりもむしろ小口のファンドを中心に集めていくためにもっと工夫が必要だと思ひます。
- A. ありがとうございます。通信手段も含めて同窓や現役に対する援助については今後理事会で検討を進めていきます。また大雑把に言いますと同窓会は教科書代などの就学援助、後援会は部活動に対する援助、ファンドは設備に対する援助をしています。

他にご質問がなければ平成25・26年度事業・活動計画を承認される方は拍手をお願ひします。

(一同拍手)

ありがとうございました。平成25・26年度事業・活動計画は承認されました。

第6号議案 平成25,26年度予算

副会長（会計担当理事）18期 高田桂子

先ず25年度収支予算収入の部、入会金としての会費収入3,000,000円、寄付金収入2,000,000円はそれぞれ希望的観測です。受取利息を含めて収入合計5,000,300円です。支出の部、自主企画事業費として南高祭、56期、58期同期会の費用で650,000円。同期会奨励金200,000円。母校関係費1,400,000円には、今年が南高創立60周年のため同窓会として1,000,000円の寄付金が含まれます。会報発行費600,000円。OB関係費10,000円。地域貢献費5000円。以上事業費として合計2,865,000円。総会費として発送運賃他が1,600,000円。管理費436,000円。積立準備金、これは10年に1度の母校周年行事と2年に1度の総会開催の年にまとまった支出とならないように、それぞれ100,000円と500,000円を積み立てて別枠で管理していきます。基本財産引当金1,000,000円は今回北見先生からご意見を頂き繰越金とは別に管理していきます。予備費100,000円を合わせて支出合計6,601,000円で当期収支差額マイナス1,600,700円となり、積立金と基本財産引当金を別会計としてその他に次期繰越金が8,719,530円です。続いて26年度収支予算収入の部、会費収入は中高一貫に伴い来年から卒業生が1学年5クラスとなりますので1,800,000円、寄付金も来年は総会がないのであまり見込めませんが100,000円とそれぞれ希望的観測です。受取利息を含めて1,900,300円です。支出の部では25年度同様事業費1,865,000円。総会費は開催しませんので0円。管理費436,000円。積立準備金600,000円。予備費100,000円を合わせて支出合計3,001,000円で当期収支差額マイナス1,100,700円となります。マイナス予算は本意ではありませんが、25年度は南高の60周年の寄付と総会開催のために例年よりも支出が多いことと積立金と基本財産引当金を別会計にしたこともありますのでご理解ください。これからも総会を開催していくには支出増が見込まれますので寄付を是非よろしくお願いします。

Q. 遡りますが、会則内規のところ慶弔関係の弔事に関して名誉顧問、顧問、理事、相談役の家族や親の死亡の時にも生花を献ずるとなっていますが本人の死亡の時だけでいいのではないのでしょうか？次に基本財産引当金はなんのためにするのですか？また何故1,000,000円という金額なのですか？それから管理費の中に交通費とありますがこれについて説明してください。

A. 先ず慶弔関係についてですが、理事、役員はすべてボランティアで活動していますのでそれを労う意味でこのようになっていますがもう1度理事会で検討してみます。次に基本財産引当金ですが貸借対照表を見ていただくとわかりますが、基本財産が0円になっていますが、組織として基本財産としてとりあえず1,000,000円ぐらいは流動資産の預貯金ではなく固定資産として別口座で管理していくべきという考えからで、勿論財政的に余裕が出来てくれば増額することもあります。それから交通費については活動報告に記載してあるようにかなりの回数の会合をしていますが、会場費の安い南公会堂を使用しています。そこへ集まるための交通費は理事たちの持ち出しではなく会の負担でやらせていただいております。

Q. 2年後に同窓会も60周年を迎えますが、何か催しをするのですか？

A. 今のところ理事会では全く話し合われていません。あくまで会長の個人の考えですが、現時点では総会を開催してきちとした組織として固めていき財政基盤をしっかりとするという足固めの段階ですので、50周年の時のような盛大なパーティーをするというのは時期尚早と思います。しかし60周年記念総会として少し規模を大きくしてイベント的なものも含めてみなさんが集まりやすいような形にできたらと考えています。

- Q. 会報発行費が今年と来年の予算では600,000円ですが、昨年は69,090円となっています。これは間違いではありませんか？
- A. 間違いではありません。昨年までは会報は当年の卒業生と現役生徒を中心に配っていましたが、これからは同窓生のみなさまに送るということを前提にしておりますのでこの金額になっています。
- Q. 総会は2年に1度開催ですが、会報も2年に1度送るのですか？
- A. はい、2年に1度2年分送ります。
- Q. 総会費が1,600,000円ですがそのための積立額が500,000円ですので2年で1,000,000円にしかならず不足してしまうのではないですか？
- A. おっしゃる通りですがあくまでも予算ですので、寄付金やマイナス予算との兼ね合いもありこのようにしました。
- Q. 次回以降は前年度の会計と比較対象出来るような形で書いてください。
- A. また試行錯誤しながらやっているところですので、次回までにはご要望に応えられるように努力していきます。
- Q. 今回多額の費用をかけて郵送したのですからその結果を無駄にしないようにしっかりと住所録の整備をしてください。
- A. 今回はわかりやすい通し番号を利用していますので、約22,000人の同窓生のうち住所がはっきりしている約15,700通送ったうち転居等で戻って来てしまった約1,700通につきましても各期の協力を得て次回までに住所録をさらに精査していきます。またこれまでは会報を送ることが無かったので住所変更を届け出る意味がなかったのですがこれからはよろしくお願いします。

他にご質問がなければ平成25・26年度収支予算案を承認される方は拍手をお願いします。

(一同拍手)

ありがとうございました。平成25・26年度収支予算案は承認されました。

以上をもちまして、総会の議事を終了させていただきます。大変長い時間になりましたが、たくさんの真摯なご意見ありがとうございました。

6. 閉会挨拶

司会 17期理事 小林保

長時間になりましたが、みなさんありがとうございました。

以上をもちまして、横浜市立南高等学校・附属中学校同窓会平成25・26年度総会を終了します。お疲れ様でした。